

市自主運行バス再編（案）について

可児市では、可児市地域公共交通協議会により昨年度の調査等を基に作成された、平成 26 年度可児市生活交通ネットワーク計画に基づき、自主運行バスの再編を以下のとおり行います。

また電話で予約バスについては、平成 22 年から本格運行を開始したところですが、再編に伴う区域拡大・変更や停留所の追加や移動等も併せて行います。

路線（区域）及び停留所について

さつきバス

西部線

バス停間の利用実態を踏まえ、冗長した路線の短距離化による運行時間の短縮を図りながら、現行の巡回型路線から、西可児駅、若葉台団地と岐阜社会保険病院、可児川苑、坂戸商業施設、市中心部施設、市役所、可児駅及び新可児駅を連絡するルートに変更します。

東部線

バス停間の利用実態を踏まえ、「桜ヶ丘線」のルート変更（緑ヶ丘経由）に合わせ、冗長した路線の短距離化による運行時間の短縮を図りながら、現行の巡回型路線から、花フェスタ記念公園、羽生ヶ丘、広眺ヶ丘団地と市中心部施設、市役所、可児駅及び新可児駅を連絡するルートに変更します。

桜ヶ丘線

さつきバス東部線の見直しに伴い、公共交通利用不便地区となる緑ヶ丘を経由し、桜ヶ丘ハイツ、緑ヶ丘団地、三峰、福寿苑、市中心部施設、市役所、可児駅及び新可児駅を連絡するルートに変更します。

兼山線

他路線と同様に可児駅及び新可児駅へ乗り入れるルートに変更します。

中心循環線（新規路線）

地域活性化軸として市中心部施設を循環する路線を新設します。

具体的な路線等については資料 2（別紙）のとおりです

電話で予約バス

今渡・川合・土田地区

- ・一部存在していた公共交通利用不便地区及び、さつきバス西部線の改編に伴い発生した公共交通利用不便地区の解消を目的として、停留所を新設します。
- ・利用者の利便性向上を目的として、商業施設を停留所に追加します。

- ・乗降に危険が伴う一部停留所の対応として、停留所位置の変更及び撤去を行います。
春里・姫治地区

・下切地内に存在していた公共交通利用不便地区の解消を目的として、停留所を新設します。

- ・利用者の利便性向上を目的として、「ピアゴ」を停留所に追加します。

中恵土を運送区間に加える

・乗降が危険である「総合保健センター」停留所を廃止し、「東海ろうきん可児支店」停留所を新設します。

羽崎・二野・久々利地区

- ・利用者の利便性向上を目的として、「ピアゴ」を停留所に追加します。

中恵土を運送区間に加える

・乗降が危険である「総合保健センター」停留所を廃止し、「東海ろうきん可児支店」停留所を新設します。

大森地区

- ・利用者の利便性向上を目的として、「ピアゴ」を停留所に追加します。

中恵土を運送区間に加える

・乗降が危険である「総合保健センター」停留所を廃止し、「東海ろうきん可児支店」停留所を新設します。

帷子地区

- ・「岐阜社会保険病院」と「可児川苑」に停留所を設置します。

土田、塩、坂戸を運送区間に加える

広見東・中恵土地区（試験運行地区）

・10月から本格運行に移行し、石井地区は広見自治連合会下であるため当路線から除外しますが、「宗宮整形外科」停留所については広見東地区からの利用があるため、当路線の停留所として残します。

- ・利用者の利便性向上を目的として、停留所を変更・追加します。
- ・今渡・川合・土田地区の停留所であった「前波」「中恵土新田」停留所を追加します。
- ・乗降が危険である「総合保健センター」停留所を廃止し、「東海ろうきん可児支店」停留所を新設します。

詳細については、資料3のとおりです。

下恵土・広見地区（新規地区）

- ・公共交通空白地解消のため、広見・下恵土地区に電話で予約バスを導入します。運行詳細については、資料3のとおりです。

具体的な停留所等については資料2（別紙）のとおりです

ダイヤ及び運行日について

さつきバス

西部線

利用の主な目的地である病院・商業施設の開店時間に配慮したダイヤに変更します。

「誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの構築」の実現の一つとして、新規利用者の利用機会創出のため、朝夕の時間帯へダイヤを拡大します。

東鉄帷子線との乗継の利便性の向上を図ります。

東部線

利用の主な目的地である病院・商業施設の開店時間に配慮したダイヤに変更します。

「誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの構築」の実現の一つとして、新規利用者の利用機会創出のため、朝夕の時間帯へダイヤを拡大します。

東鉄帷子線との乗継の利便性の向上を図ります。

桜ヶ丘線

東鉄緑ヶ丘線と相互に補完する路線としての目的を明確にし、両路線のダイヤを合わせて、概ね1時間に1本(7時～17時の間)の運行が可能となるようダイヤを変更します。

利用の主な目的地である病院・商業施設の開店に配慮したダイヤに変更します。

兼山線

利用の主な目的地である病院・商業施設の開店時間に配慮したダイヤに変更します。

他路線とサービス水準を合わせることを目的として、現行週3日(火・木・土)運行を週6日(月～土)運行とします。

中心循環線

利用の主な目的地である病院・商業施設の開店時間に配慮しながら、中心部の主要公共施設等を定期的に巡る路線とします。

他路線と同様に週6日(月～土)運行とします。

具体的なダイヤは資料2(別紙)11頁のとおりですが、現在ダイヤ確定に向けて調整中につき、次回協議会にてもう一度協議いただく予定です。

電話で予約バス

新規地区を含め、従来通りとします。

(参考)

ダイヤ：8時から16時までの毎時00分、30分(春里・姫治地区は45分、帷子地区は40分)発。ただし、予約がない場合は運行しない。

運行日：月～土曜日

運賃について

さつきバス

乗車料金の見直し

- ・ 65歳以上及び中学生への割引（100）円を廃止し、乗車料金を一般料金と同額の200円とします。ただし、次の割引制度は継続し、電話で予約バスの制度に合わせ、精神障害者保健福祉手帳保持者の「介護者1名」についても割引対象とします。

【割引対象】

- ・ 小学生
- ・ 身体障害者手帳保持者のうち第1種及びその介護者1名
- ・ 身体障害者手帳保持者のうち第2種身体障害者
- ・ 療育手帳所持者のうち第1種知的障害者及びその介護者1名
- ・ 療育手帳保持者のうち第2種知的障害者
- ・ 精神障害者保健福祉手帳保持者及びその介護者1名 追加

定期券の発行

- ・ 現在、全体利用者の約45%が週3日以上の利用であることから、より積極的な利用と乗降時の利便向上のため定期券を導入します。
- ・ 金額については、現行利用者全体の約85%が65歳以上者の割引を受けている。このことから、これら利用者の負担を考慮し併せて従来の低利用者にも定期券購入を促すよう次のとおり設定します。

1月券 3,000円 3月券 8,000円 6月券 15,000円 【資料2（別紙）12頁参照】

定期券発行による運賃収入については、現在週4日使用されている方が定期券購入者に移行し減収となる分と、3日以下の方の一部が定期券購入者に移行し増収となる分及び65歳以上の者への割引廃止による増収分が相殺されるものと見込みます。

平成24年度実績557万円

| | |
|-----------------------------|--------------|
| 週3日以上利用者が支払った料金 | 全体の約79% |
| 週1～2日利用者が支払った料金 | 全体の約13% |
| その他の利用者が支払った料金 | 全体の約8% |
| 週3日以上利用者が定期券に移行した場合の人数 | 105名 |
| 週1～2日利用者の3分の1が定期券に移行した場合の人数 | 15名 |
| 計120名が定期券購入者となった場合の収入見込み | 390万円 |
| その他、正規料金・回数券での収入見込み | 160万円 |
| <u>年間収入見込額</u> | <u>550万円</u> |

回数券

従来通り販売します。

- ・ 2,000 円（200 円券 1 1 枚つづり） 1,000 円（100 円券 1 1 枚つづり）

乗継券の発行

- ・ 次の停留所で乗継券を発行します。当日のみ有効。

市役所 ヨシズヤ 村 木

- ・ 電話で予約バスとの乗継券については従来通り発行しません。

電話で予約バス

従来どおりとします。

広見東・中恵土地区、下恵土・広見地区については資料 3 で説明します。

運行補助金の見込みについて

さつきバス

平成 24 年度実績 38,360 千円

改正案での見込み 41,000 千円（前年同等の運賃収入として）

電話で予約バス

平成 24 年度実績 12,671 千円

改正案での見込み 15,300 千円（前年同様の運賃収入として）

再編に向けての今後の啓発について

再編時までの周知・啓発

- ・ 地域説明会の開催による周知を行うとともに、広報紙やケーブルテレビ等による広報活動を行います。
- ・ 主に高齢者の方が再編時に安心して、最寄りの病院や大型商業店舗へ行けるよう、路線と行き先を限定した、解りやすい簡易時刻表を作成し事前に配布することで、混乱が無いよう努めます。

再編後の啓発活動

- ・ 上記簡易時刻表等を活用し、実際に乗車いただき路線の活用法を体験いただける機会を設けるなど、安気にご利用いただける PR を継続し実施する。

再編時期について

10月1日(火)から再編後のダイヤ等で運行予定です。ただし、電話で予約バス「広見・下恵土地区」については、体験期間として9月17日(火)から運賃無料で運行を開始します。